

第31期（2015年12月期） 第2四半期  
決算補足説明資料

2015年8月5日  
サイバネットシステム株式会社

つくる情熱を、支える情熱。  
**CYBERNET**

## 略式記号について

14.12/2Q	2014年 12 月期 第2四半期期間
14.12/1H	2014年 12 月期 第2四半期累計期間
14.12	2014年 12 月期 通期
15.12/2Q	2015年 12 月期 第2四半期期間
15.12/1H	2015年 12 月期 第2四半期累計期間
15.12E	2015年 12 月期 通期予想
調整後13.12	2013年 12 月期を12ヶ月に調整した通期

※ 当社は2013年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、2013年12月期は、2013年4月1日から2013年12月31日までの9ヶ月間となっております。

## ◆2015年12月期 第2四半期 決算の概況


[連結]業績の概況	5
[連結]営業利益の増減要因(前年同期比較)	6
[連結]営業利益の増減要因(計画比較)	7
[連結]貸借対照表	8
[連結]キャッシュ・フロー計算書	9
[連結]四半期売上高の推移	10
[連結]セグメント別損益の概況	11
[連結]事業別売上高の増減要因(前年同期比較)	12
[連結]事業別売上高の構成比	13
[連結]事業別営業利益の増減要因(前年同期比較)	14
[個別]ソリューション別の概況	15
[個別]応用分野別売上高	17
[個別]業種別類売上高	19
[個別]ライセンス契約別売上高	21
[連結]海外子会社の状況	22

## ◆2015年12月期 業績予想

[連結]当期の業績予想	25
[連結]当期の配当予想	26

## ◆参考資料

個別業績及び予想等を記載しております。



# 2015年12月期 第2四半期 決算の概況

つくる情熱を、支える情熱。  
**CYBERNET**

# [連結]業績の概況

CYBERNET

(単位:百万円)

	15.12/1H	14.12/1H			15.12/1H		
	実績	実績	前同差	前同比	計画	計画差	計画比
売上高	8,378	8,409	▲ 30	99.6%	8,816	▲ 437	95.0%
営業利益	628	664	▲ 36	94.6%	553	+ 75	113.6%
営業利益率	7.5%	7.9%	▲ 0.4P		6.3%	+ 1.2P	
経常利益	672	765	▲ 92	87.9%	617	+ 55	109.1%
経常利益率	8.0%	9.1%	▲ 1.1P		7.0%	+ 1.0P	
四半期純利益	300	361	▲ 60	83.2%	323	▲ 22	93.1%
四半期純利益率	3.6%	4.3%	▲ 0.7P		3.7%	▲ 0.1P	

※P:ポイント

## ◆ 業績の概況

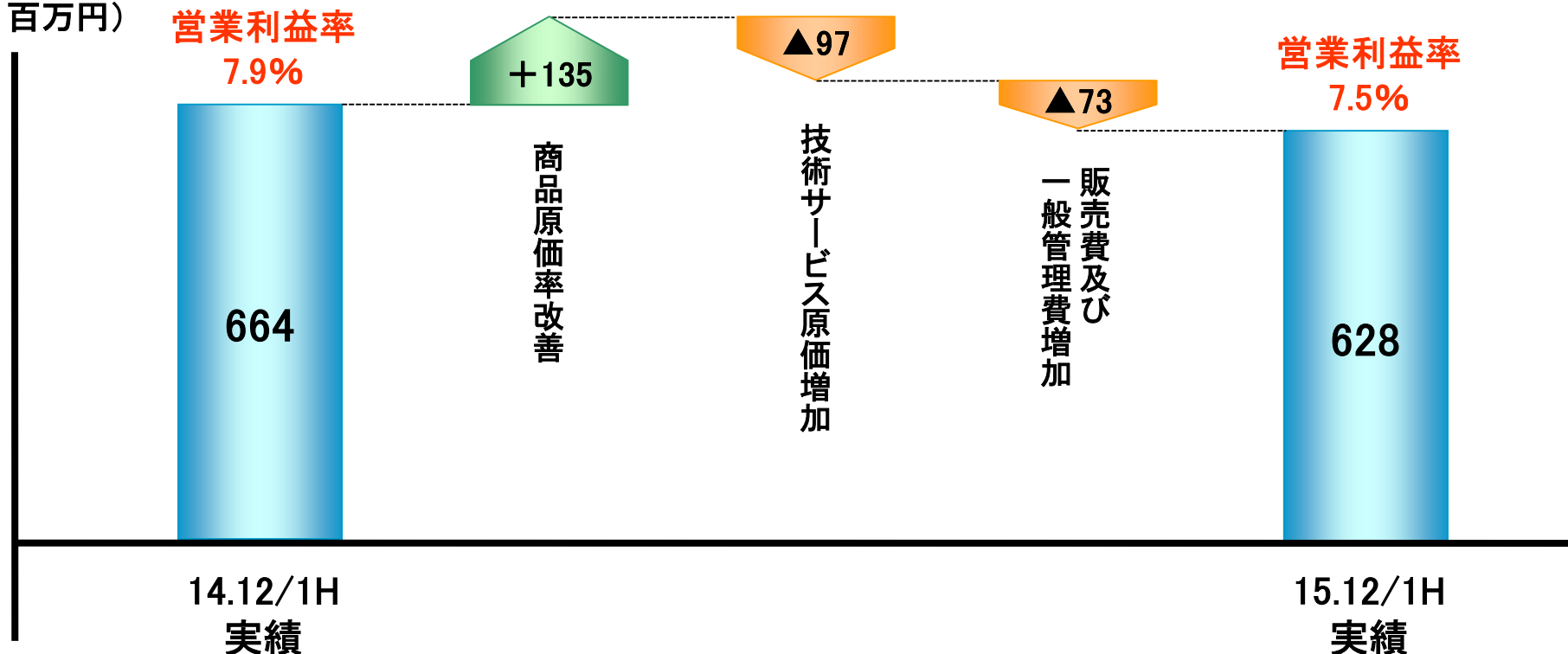
海外売上高は、前第3四半期連結会計期間より思渤科技股份有限公司（台湾）を連結範囲に含めたことに加え、既存のグループ会社も好調に推移いたしました。しかし、国内売上高は、ITソリューションサービス事業は好調に推移いたしました。前期において可視化分野で教育機関から大型案件の受注があったこと及びEDA分野で変更を行った取扱商品が立ち上げ段階のため、前年同期に比べ低調に推移いたしました。そのため、売上高は前年同期を下回りました。

利益面では、人材採用拡大による人件費の増加及び税制改正に伴う法人税率の変更による繰延税金資産の取崩しの影響等により、営業利益、経常利益、四半期純利益は前年同期を下回りました。

# [連結] 営業利益の増減要因(前年同期比較)

CYBERNET

(単位:百万円)



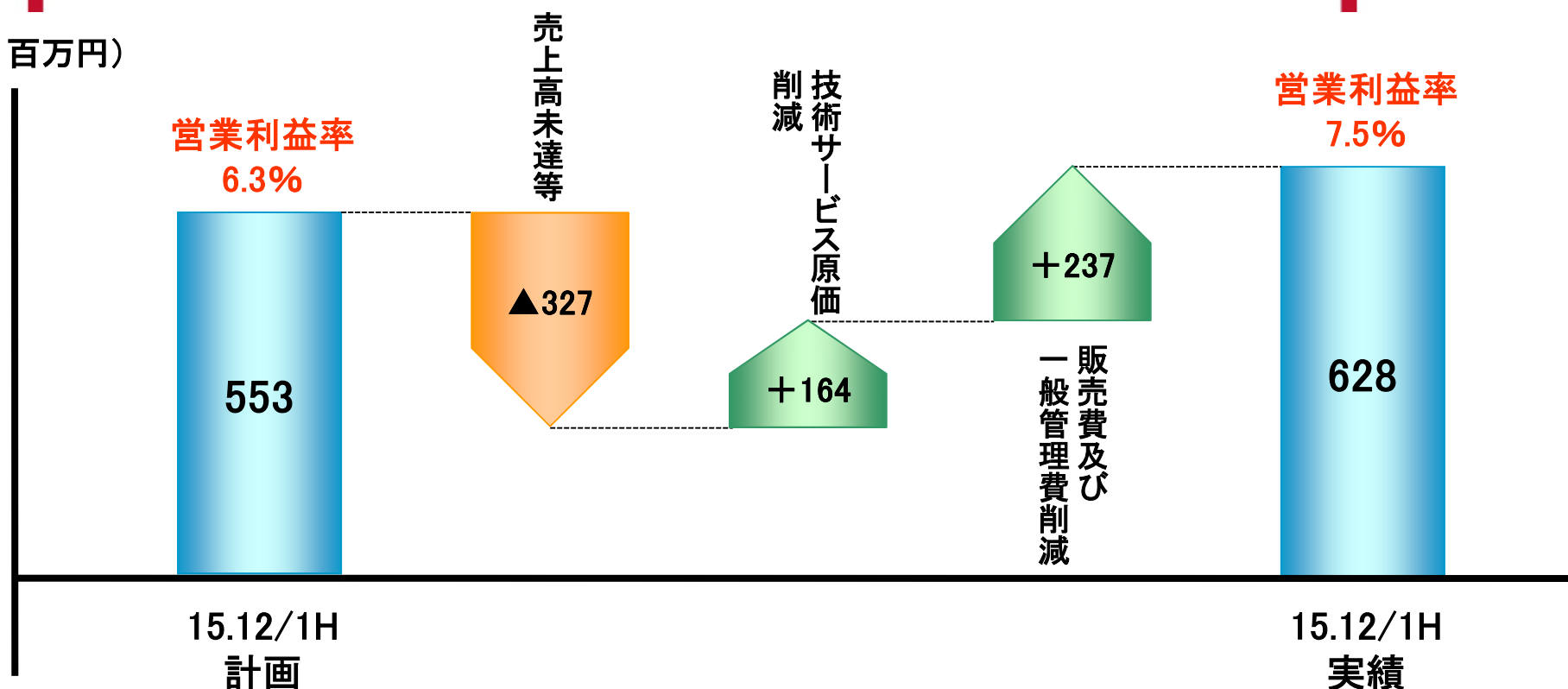
## ◆ 前期比増減要因

商品利益は、国内売上高が伸び悩んだことによる減益要因がありましたが、前期の可視化分野における大型案件の商品原価率が高かったこと等により商品原価率が改善したことや前第3四半期連結会計期間より思渤科技股份有限公司（台湾）を連結範囲に含めたことに加え、円安による為替の影響等もあったため、前同差135百万円の増益となっております。

営業利益は、前第3四半期連結会計期間より思渤科技股份有限公司（台湾）を連結範囲に含めたこと及び人材採用拡大により人件費が増加したこと等のため、前同差36百万円の減益となっております。

# [連結] 営業利益の増減要因(計画比較)

(単位: 百万円)



## ◆ 計画比増減要因

商品利益は、国内においてITソリューションサービス事業は好調に推移いたしましたが、主力のマルチフィジックス解析ツールの新規ライセンス販売や、EDA分野の取扱商品の変更に伴い販売を開始した電子回路基板設計ソリューションが売上未達となったことにより、計画比327百万円の減益となっております。

営業利益は、採用計画未達等による人件費の減少及び経費未消化等により、計画比75百万円の増益となっております。

# [連結]貸借対照表

CYBERNET

(単位:百万円)

	14.12	15.12/1H	前期末差
<b>流動資産</b>	<b>14,503</b>	<b>15,005</b>	<b>502</b>
現金及び預金	3,343	2,383	▲ 959 ①
受取手形及び売掛金	3,520	3,838	317
有価証券	3,010	4,300	1,290 ②
短期貸付金	3,020	3,022	1
その他	1,608	1,459	▲ 148
<b>固定資産</b>	<b>5,362</b>	<b>4,925</b>	<b>▲ 436</b>
有形固定資産	339	324	▲ 14
無形固定資産	3,466	3,171	▲ 294 ③
投資その他の資産	1,556	1,429	▲ 127
<b>資産合計</b>	<b>19,865</b>	<b>19,931</b>	<b>65</b>
<b>流動負債</b>	<b>4,733</b>	<b>4,833</b>	<b>100</b>
買掛金	1,029	1,477	447
未払費用	428	401	▲ 26
前受金	2,034	2,096	61
賞与引当金	447	301	▲ 145
その他	792	556	▲ 236
<b>固定負債</b>	<b>913</b>	<b>1,117</b>	<b>204</b>
退職給付に係る負債	845	1,051	206
その他	68	65	▲ 2
<b>負債合計</b>	<b>5,647</b>	<b>5,951</b>	<b>304</b>
<b>純資産合計</b>	<b>14,218</b>	<b>13,979</b>	<b>▲ 239 ④</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>19,865</b>	<b>19,931</b>	<b>65</b>

## ◆ 前期末差増減要因

- ①現金及び預金（前期末差 ▲959百万円）  
資金運用のための有価証券純購入額▲1,000百万円及び法人税等の支払額▲436百万円により減少しております。
- ②有価証券（前期末差 1,290百万円）  
債券の購入4,300百万円、債券の償還▲3,300百万円及び長期から短期への振替301百万円により増加しております。
- ③のれん（前期末差 ▲347百万円）  
償却▲191百万円及び為替換算▲156百万円により減少しております。
- ④純資産合計（前期末差 ▲239百万円）  
剰余金の配当▲255百万円、為替換算調整勘定の減少▲164百万円により減少しております。



# [連結]キャッシュ・フロー計算書

CYBERNET

(単位:百万円)

	14.12/1H	15.12/1H	前同差
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,190	588	▲ 601
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,749	528	2,277
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 163	▲ 264	▲ 100
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 40	▲ 10	30
現金及び現金同等物の増減額	▲ 763	842	1,605
現金及び現金同等物の期首残高	4,042	4,239	197
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	15	—	▲ 15
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,294	5,082	1,788

## ◆ 前年同期比増減要因

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

債権債務の増減等ありますが、主に法人税等の支払額の増加によりマイナスとなっております。

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

主に資金運用のための投資有価証券の取得による支出が減少したことによりプラスとなっております。

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に配当金の支払額が増加したことによりマイナスとなっております。

# [連結]四半期売上高の推移

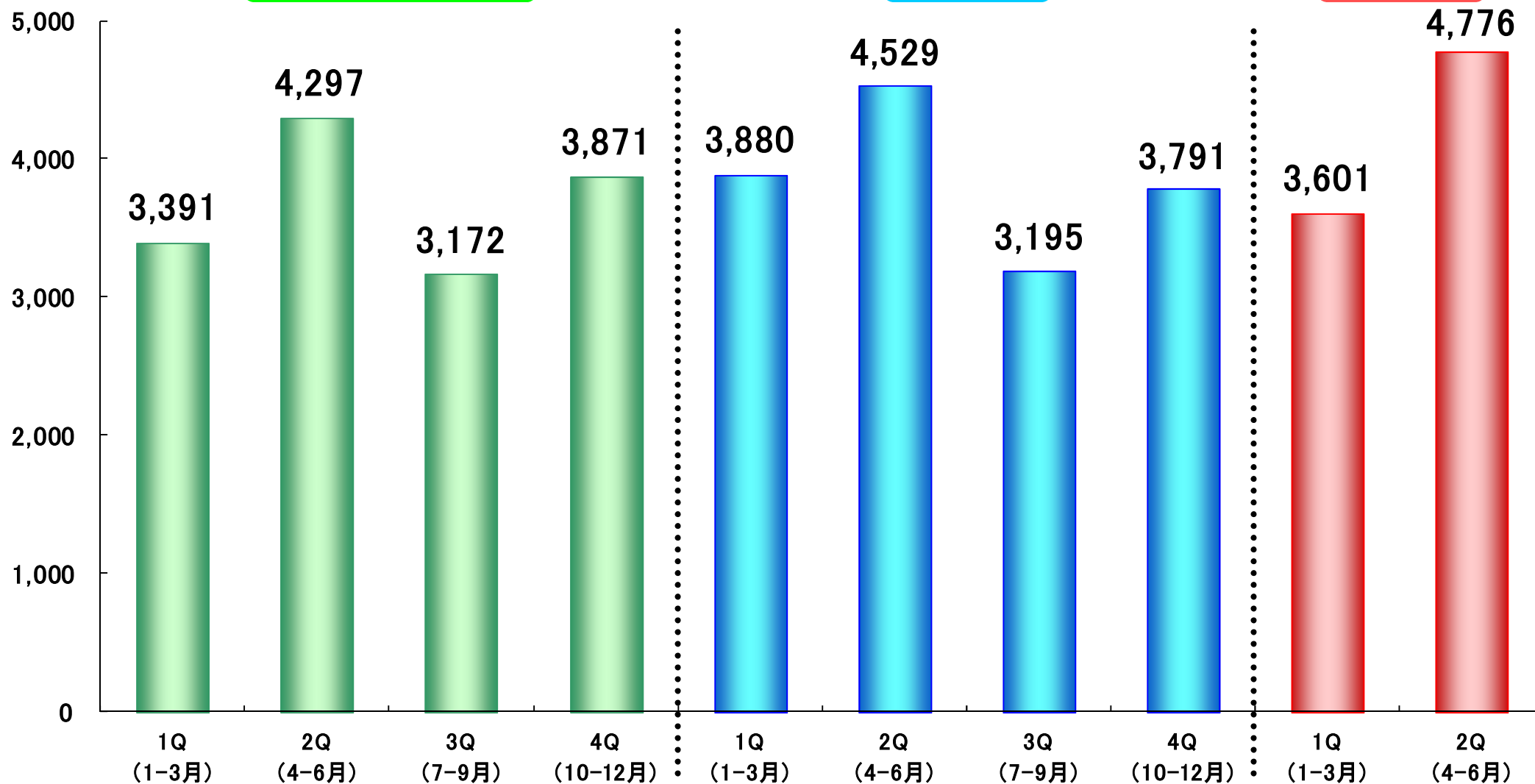
CYBERNET

(単位:百万円)

調整後13.12

14.12

15.12



# [連結]セグメント別損益の概況

CYBERNET

(単位:百万円)

	14.12/1H		15.12/1H			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
売上高 合計	8,409	100.0%	8,378	100.0%	▲ 30	99.6%
CAEソリューションサービス事業	7,628	90.7%	7,399	88.3%	▲ 228	97.0%
ITソリューションサービス事業	781	9.3%	979	11.7%	+ 197	125.3%
セグメント利益(営業利益) 合計	664	—	628	—	▲ 36	94.6%
CAEソリューションサービス事業	1,335	—	1,211	—	▲ 124	90.7%
ITソリューションサービス事業	58	—	143	—	+ 84	245.6%
調整額	▲ 729	—	▲ 726	—	+ 3	99.6%

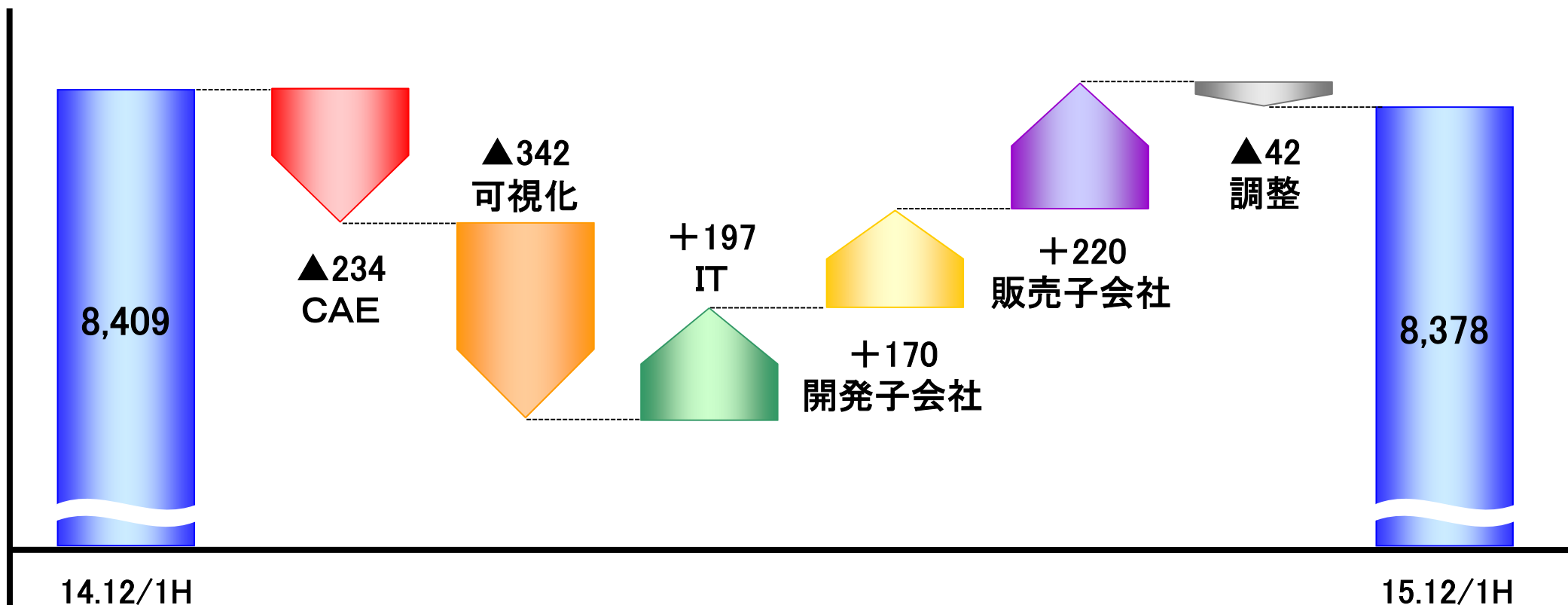
注) 調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

注) CAEソリューションサービス事業はCAE、可視化、開発子会社、販売子会社の合計です。

# [連結]事業別売上高の増減要因(前年同期比較)

CYBERNET

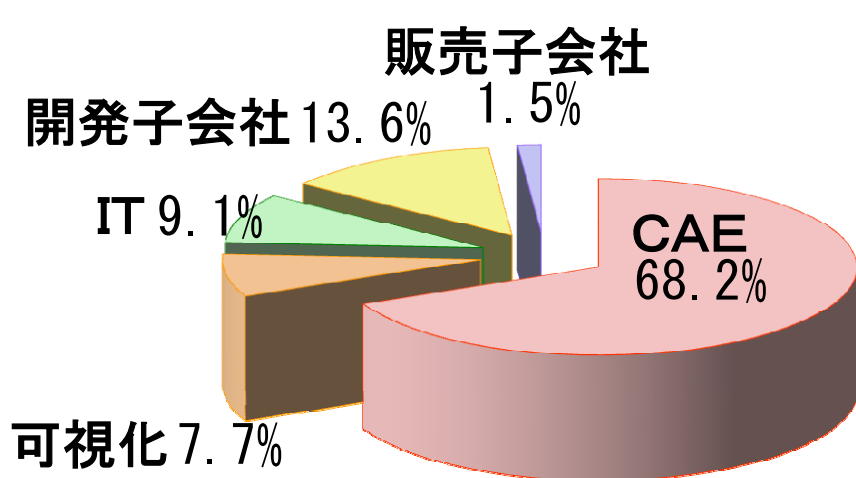
(単位:百万円)



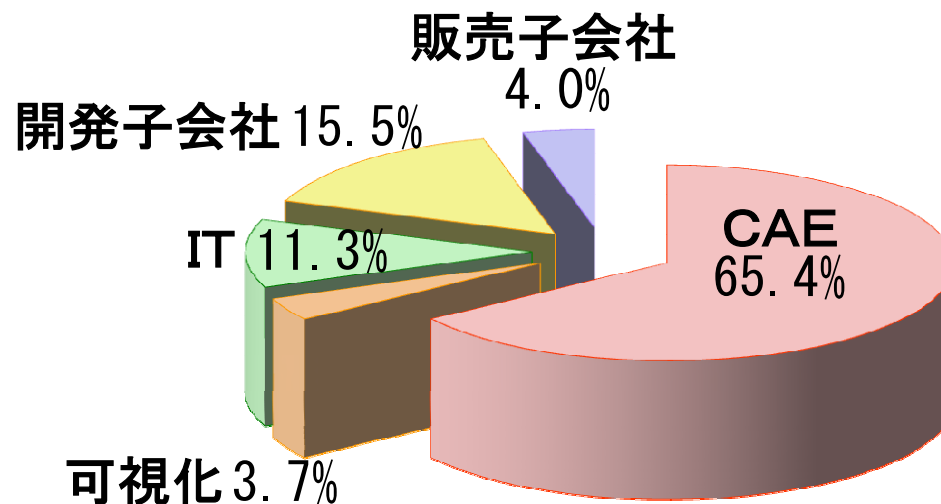
注) 各事業の分類は以下となります。

- ・ CAEとは、個別におけるCAEソリューションサービス事業となります。(可視化分野除く)
- ・ 可視化とは、個別における可視化分野となります。
- ・ ITとは、個別におけるITソリューションサービス事業となります。
- ・ 開発子会社とは、連結対象の欧米の開発子会社3社の合計数値となります。
- ・ 販売子会社とは、連結対象のアジアの販売子会社3社の合計数値となります。
- ・ 調整とは、連結調整となります。

# [連結]事業別売上高の構成比



連結売上高  
8,409百万円  
14.12/1H



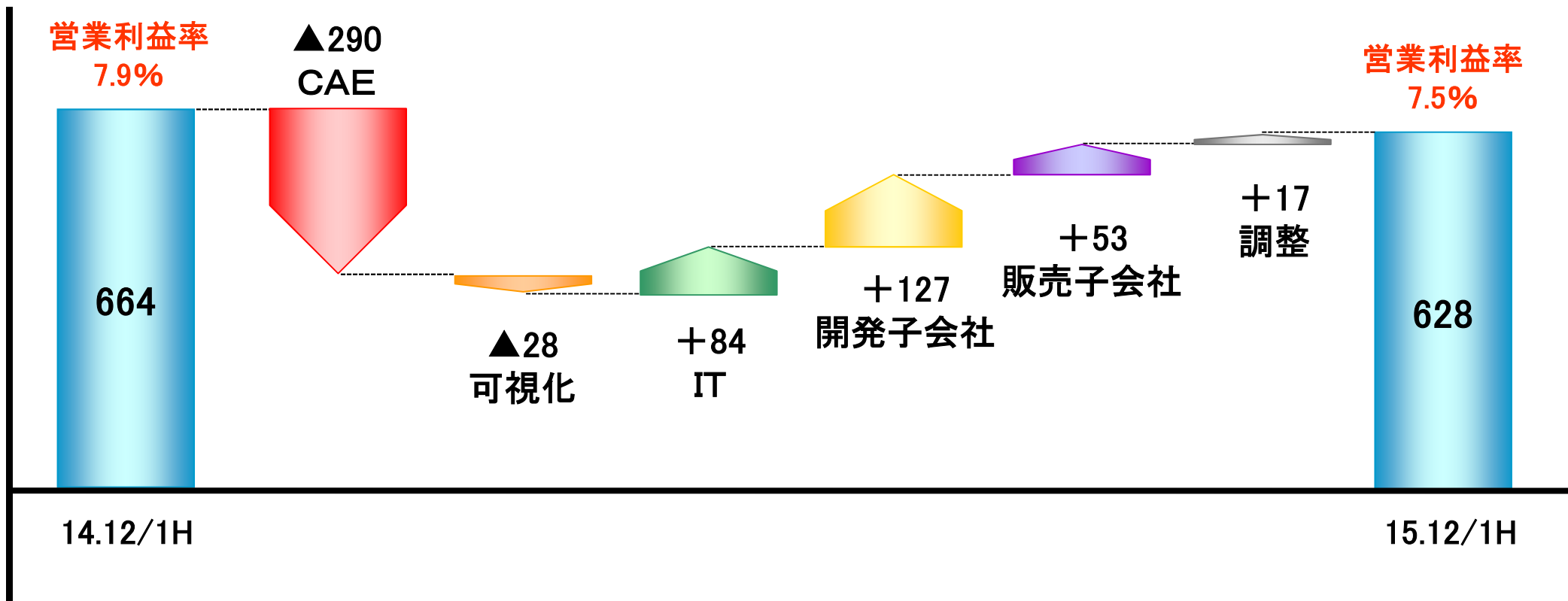
連結売上高  
8,378百万円  
15.12/1H

注) 上記数値は、連結調整を除いた構成比です。  
各事業の分類は前ページと同様となります。

# [連結]事業別営業利益の増減要因(前年同期比較)

CYBERNET

(単位:百万円)



注) 上記数値は、前期営業利益に対する事業別の増減額となります。  
 各事業の分類は前ページの売上高と同様となります。  
 調整には、連結調整と全社費用が含まれております。

## CAEソリューションサービス

M C A E 分野	<p>主力のマルチフィジックス解析ツールは、新規ライセンス販売はほぼ前年並みに推移し、保守契約の更新は民間企業の研究開発投資に支えられ、電機業界や機械製造業界からの受注が伸び、堅調に推移。3次元ダイレクトモデラーは、製造業向けのCAEデータ加工・修復ツールとしてだけでなく、3Dプリンターのデータ編集ツールとして採用されはじめたことで、新規ライセンス販売及び保守契約の更新が共に好調に推移。</p>
光学設計分野	<p>光学設計評価プログラムは、保守契約の更新はほぼ前年並みに推移したが、新規ライセンス販売が伸び悩み低調に推移。主力の照明設計解析ソフトウェアは、電機業界や機械精密業界向けの新規ライセンス販売が好調に推移し、保守契約の更新も製造業の各分野において好調に推移。前期より販売を開始した自動車用照明設計プラットフォームは、自動車用照明機器に参入している電機業界での複数の採用があり、新規ライセンス販売が好調に推移。</p>
E D A 分野	<p>前期の取扱商品の変更に伴い新たに販売を開始した電子回路基板設計ソリューションは、立ち上げ段階のため低調に推移。プリント基板(PCB)エンジニアリングサービスも、既存取引顧客からの受注が低調に推移。</p>
M B D 分野	<p>当社グループ製品であるシステムレベルモデリング&amp;シミュレーションは、保守契約の更新は好調に推移したが、新規ライセンス販売は自動車業界からの大型案件が減少し、低調に推移。モデルベース開発エンジニアリングサービスは、自動車業界を中心に引き続き需要が高く、好調に推移。</p>

# [個別]ソリューション別の概況

## CAEソリューションサービス

ビッグデータ分野	イノベーション支援ソリューションは、保守契約の更新は好調に推移したが、前期に比べ大型案件が少なく、新規ライセンス販売は低調に推移。 ビッグデータ可視化エンジンや特許調査／戦略立案サービスは、新規事業として取り組み中。
テスト・計測分野	当社が開発したFPD (Flat Panel Display) 自動検査システムは、中国をはじめディスプレイの自動検査装置の市場ニーズが高まっていることもあり、好調に推移。
その他分野	当社グループ製品である3次元公差マネジメントツールは、保守契約の更新は堅調に推移したものの、新規ライセンス販売が低調に推移したため、横ばい。 同じく当社グループ製品である最適設計支援ツールは、電機業界での大型案件の導入により、新規ライセンス販売が好調に推移。 CAE技術教育ビジネスは、製造業における人材育成ニーズの高まりを受け、設計環境評価サービス及びオンサイト教育サービスが好調に推移。
可視化分野	医用画像ソフトウェアの販売及びAR (Augmented Reality: 拡張現実) ソリューションの新規ライセンス販売並びに製造業向けのAR構築支援サービスが好調に推移。 しかし、前期の大規模可視化装置及びシステム導入の大型案件をカバーするには至らず。

## ITソリューションサービス

主力商品である大手開発ベンダのセキュリティ関連ソリューションは、新規ライセンス販売は大型案件の減少により低調に推移したが、更新契約は月額課金モデル、OEMモデル及びクラウドサービスの成長により、好調に推移。  
ディスク暗号化ソフトウェア及びIT資産管理ソフトウェアは、セキュリティ事故対策への市場のニーズに支えられ、新規ライセンス販売及び更新契約が共に好調に推移。  
クラウドサービスは、邦人企業の海外展開を含む多拠点展開でのクラウドの利便性が市場で認知されはじめ、新規契約及び契約更新が共に好調に推移。



# [個別]応用分野別売上高

CYBERNET

<第2四半期>

(単位:百万円)

	14.12/2Q		15.12/2Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
MCAE	1,974	49.5%	2,108	51.8%	+ 133	106.8%
光学設計	916	23.0%	961	23.6%	+ 44	104.8%
EDA	397	10.0%	71	1.8%	▲ 325	18.0%
MBD	105	2.6%	108	2.7%	+ 3	103.0%
ビッグデータ	66	1.7%	78	1.9%	+ 11	117.8%
テスト・計測	12	0.3%	41	1.0%	+ 28	318.5%
その他	59	1.5%	95	2.3%	+ 35	160.2%
可視化	74	1.9%	127	3.1%	+ 52	170.6%
ITソリューション	380	9.5%	475	11.7%	+ 95	125.0%
合計	3,988	100.0%	4,067	100.0%	+ 78	102.0%

# [個別]応用分野別売上高

CYBERNET

<第2四半期累計>

(単位:百万円)

	14.12/1H		15.12/1H			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
MCAE	2,983	40.8%	3,053	44.0%	+ 70	102.3%
光学設計	1,676	22.9%	1,710	24.6%	+ 33	102.0%
EDA	644	8.8%	165	2.4%	▲ 478	25.6%
MBD	278	3.8%	297	4.3%	+ 18	106.7%
ビッグデータ	145	2.0%	145	2.1%	0	100.1%
テスト・計測	19	0.3%	104	1.5%	+ 84	538.4%
その他	129	1.8%	166	2.4%	+ 36	128.3%
可視化	663	9.1%	321	4.6%	▲ 342	48.4%
ITソリューション	781	10.7%	979	14.1%	+ 197	125.3%
合計	7,322	100.0%	6,942	100.0%	▲ 379	94.8%

# [個別]業種別売上高

CYBERNET

<第2四半期>

(単位:百万円)

	14.12/2Q		15.12/2Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
電気機器	1,623	40.7%	1,535	37.8%	▲ 88	94.6%
機械・精密機器	611	15.3%	638	15.7%	+ 26	104.3%
輸送用機器	414	10.4%	442	10.9%	+ 27	106.7%
その他製造業	438	11.0%	396	9.7%	▲ 42	90.4%
教育・官公庁	293	7.4%	358	8.8%	+ 65	122.3%
情報・通信	203	5.1%	285	7.0%	+ 81	140.0%
その他	401	10.1%	410	10.1%	+ 8	102.1%
合計	3,988	100.0%	4,067	100.0%	+ 78	102.0%

# [個別]業種別売上高

CYBERNET

<第2四半期累計>

(単位:百万円)

	14.12/1H		15.12/1H			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
電気機器	2,542	34.7%	2,465	35.5%	▲ 76	97.0%
機械・精密機器	1,135	15.5%	1,147	16.5%	+ 11	101.1%
輸送用機器	793	10.8%	731	10.5%	▲ 61	92.2%
その他製造業	739	10.1%	627	9.0%	▲ 112	84.8%
教育・官公庁	1,060	14.5%	704	10.1%	▲ 355	66.4%
情報・通信	332	4.5%	450	6.5%	+ 118	135.5%
その他	718	9.8%	816	11.8%	+ 97	113.6%
合計	7,322	100.0%	6,942	100.0%	▲ 379	94.8%

# [個別]ライセンス契約別売上高

CYBERNET

## <第2四半期>

(単位:百万円)

	14.12/2Q		15.12/2Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
新規契約	1,106	28.8%	1,174	30.2%	+ 67	106.1%
更新契約	2,731	71.2%	2,715	69.8%	▲ 15	99.4%
合計	3,837	100.0%	3,889	100.0%	+ 52	101.4%

## <第2四半期累計>

(単位:百万円)

	14.12/1H		15.12/1H			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
新規契約	2,332	35.8%	2,175	34.2%	▲ 157	93.2%
更新契約	4,180	64.2%	4,191	65.8%	+ 11	100.3%
合計	6,512	100.0%	6,366	100.0%	▲ 146	97.8%

注) 上記数値は、ライセンス契約形態をとるソフトウェア・ハードウェア・サービス売上高のみを対象としております。

# [連結]海外子会社の状況(開発子会社)

CYBERNET

開発子会社	WATERLOO MAPLE INC.	Noesis Solutions NV	Sigmatix, L.L.C.
	カナダ	ベルギー	米国
売上前年比 (現地通貨ベース)	101.5%	155.8%	107.2%
売上前年比 (円ベース)	105.8%	150.0%	124.7%
状況	エンジニアリングサービス及びSTEM(※)コンピューティング・プラットフォームの販売が好調に推移。	最適設計支援ツールの販売が欧州、北米、アジアの何れの地域においても好調に推移。	3次元公差マネジメントツール及び幾何公差設計ツールの販売が北米、アジアにおいて好調に推移。

(※) STEM : Science, Technology, Engineering, and Mathematics (科学、技術、工学、数学) という総合的な分野の総称

# [連結]海外子会社の状況(販売子会社)

販売子会社	CYBERNET SYSTEMS (SHANGHAI) CO., LTD.	CYBERNET SYSTEMS TAIWAN CO., LTD.
	中国	台湾
売上前年比 (現地通貨ベース)	138.3%	前期第3四半期から連結対象
売上前年比 (円ベース)	158.6%	
状況	取扱ソフトウェア全般において好調に推移し、また、当社開発の光学測定器ビジネスも立ち上がりはじめました。	照明設計解析ソフトウェア及びSTEMコンピューティング・プラットフォームの販売が順調に推移。



# 2015年12月期 業績予想

つくる情熱を、支える情熱。  
**CYBERNET**



# [連結]当期の業績予想

CYBERNET

(単位:百万円)

	通期			
	15.12E	14.12		
	予想	実績	前同差	前同比
売上高	16,732	15,396	+1,335	108.7%
営業利益	850	810	+39	104.8%
営業利益率	5.1%	5.3%	▲0.2P	
経常利益	980	974	+5	100.6%
経常利益率	5.9%	6.3%	▲0.4P	
当期純利益	506	596	▲90	84.8%
当期純利益率	3.0%	3.9%	▲0.9P	

業績予想について

※P:ポイント

15.12Eの期初業績予想における為替レートは117円/USDを想定したものであります。

# [連結]当期の配当予想

CYBERNET

(単位:円)

	14.12	15.12E		
	合計	第2四半期末	期末	合計
	実績	実績	予想	予想
1株当たり配当額	13.80	6.90	6.90	13.80
（普通配当）	11.20	6.90	6.90	13.80
（記念配当）	2.60	—	—	—
1株当たり当期純利益	19.14	9.65	—	16.24
配当性向	72.1%	—	—	85.0%
（参考）純資産配当率	3.1%	—	—	3.0%

14.12の配当については、普通配当11円20銭（中間5円60銭、期末5円60銭）に加え、創立30周年記念配当2円60銭が含まれております。

## 配当方針

当社は、2015年度より、以下のうちいずれか高い方を配当金額決定の参考指標とし、あわせて今後の企業価値向上に向けての中長期的な投資額を勘案した上で、総合的な判断により決定いたします。

- ・配当性向50%（従来は40%）
- ・純資産（株主資本）配当率3.0%（従来は2.5%）



# 参考資料

つくる情熱を、支える情熱。  
**CYBERNET**

# 会社概況(2015年6月30日現在)

CYBERNET

- ◆ 名 称 : サイバネットシステム株式会社 (東証第一部 4312)  
Cybernet Systems Co., Ltd.
- ◆ 本 社 : 東京都千代田区神田練塀町3番地
- ◆ 拠 点 : 西日本支社(大阪)、中部支社(名古屋)
- ◆ 設 立 : 1985年4月17日
- ◆ 資 本 金 : 995百万円
- ◆ 社 員 数 : 連結 560名  
個別 346名
- ◆ 事業内容 : CAEソリューション及びITソリューションサービスの提供、  
各種コンサルティングの提供
- ◆ 子 会 社 : 連結 WATERLOO MAPLE INC. (カナダ)  
Noesis Solutions NV (ベルギー)  
CYBERNET SYSTEMS (SHANGHAI) CO., LTD. (中国)  
Sigmetrix, L. L. C. (米国)  
CYBERNET HOLDINGS CANADA, INC. (特定目的会社)  
Cybernet Systems Holdings U. S. Inc. (特定目的会社)  
CYBERNET SYSTEMS TAIWAN CO., LTD. (台湾)  
CYBERNET SYSTEMS KOREA CO., LTD. (韓国) (2015年1月末営業停止)

CAEとは、Computer Aided Engineeringの略で、コンピュータによる工学支援のことをいい、コンピュータ上で仮想設計し、仮想実験することです。

# [個別]業績の概況

CYBERNET

(単位:百万円)

	15.12/1H	14.12/1H			15.12/1H		
	実績	実績	前同差	前同比	計画	計画差	計画比
売上高	6,942	7,322	▲ 379	94.8%	7,324	▲ 381	94.8%
営業利益	873	1,107	▲ 233	78.9%	952	▲ 78	91.8%
営業利益率	12.6%	15.1%	▲ 2.5P		13.0%	▲ 0.4P	
経常利益	876	1,163	▲ 286	75.4%	971	▲ 94	90.3%
経常利益率	12.6%	15.9%	▲ 3.3P		13.3%	▲ 0.7P	
四半期純利益	491	681	▲ 189	72.2%	624	▲ 132	78.8%
四半期純利益率	7.1%	9.3%	▲ 2.2P		8.5%	▲ 1.4P	

※P:ポイント

# [個別]当期の業績予想

CYBERNET

(単位:百万円)

	通期			
	15.12E	14.12		
	予想	実績	前同差	前同比
売上高	13,222	12,294	+927	107.5%
営業利益	1,278	1,136	+141	112.5%
営業利益率	9.7%	9.2%	+0.5P	
経常利益	1,314	1,192	+121	110.2%
経常利益率	9.9%	9.7%	+0.2P	
当期純利益	843	535	+307	157.5%
当期純利益率	6.4%	4.4%	+2.0P	

業績予想について

※P:ポイント

15.12Eの期初業績予想における為替レートは117円/USDを想定したものであります。

## ■ 広報室

住 所	〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3番地
TEL	03-5297-3066
FAX	03-5297-3609
E-MAIL	irquery@cybernet.co.jp
Webサイト	<a href="http://www.cybernet.jp/">http://www.cybernet.jp/</a>

本資料は、投資家の投資の参考となる情報のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したものです。その安全性を保証するものではありません。

また、資料に記載された意見や予測は資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら保証するものではありません。記載された内容が予告なしで変更することもありますのでご注意ください。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

つくる情熱を、支える情熱。  
**CYBERNET**